

# 道徳授業地区公開講座 5年生資料

## 1. 5年生の実態

5年生は、とても素直で一生懸命に取り組むことができます。例えば、友達や教師の話を共感的に聞いたり、教師から出た指示に対して一生懸命に取り組んだり、最後まで責任をもって取り組んだり、高学年として意欲的に学校生活を送っています。一方で、「ここを改善するともっと良くなる。」「1つのことを継続して行おう。」など、強い意志をもち目標に向かって努力することが現状ではあまりできていません。この教材を通して、強い意志をもち、目標に向かって努力することのすばらしさに気づき、積極的に取り組む心を育てていきたいです。

## 2. 授業について

### (1) 主題名「繰り返し手のひらに【強い意志】」

### (2) 教材名「ヘレンとともに」

この教材は、ヘレン・ケラーの家庭教師をつとめ、「きせきの人」と呼ばれたアニー・サリバンの信念をもち、くじけずに努力を重ねる姿から、「強い意志」とは何かをについて考える教材です。

### (3) ねらい

信念をもち、くじけずに努力を重ねるアニー・サリバンの生き方に共感的に理解することを通して、困難があってもくじけずに努力する道徳的実践意欲を培う。

### (4) 期待する児童の姿

- ・アニー・サリバンがどうしてヘレンの家庭教師を引き受けたのかをすすんで発言し、アニー・サリバンの人物像について意見交流をする。
- ・アニー・サリバンは、どんな思いで厳しくヘレンの指導をしてきたのかを話し合い、アニー・サリバンの使命感の強さについて意見交流する。
- ・アニー・サリバンは指で「WATER」と何度も描いたヘレンをどんな気持ちで抱きしめていたのかを話し合い、努力が報われる充実感や達成感について意見交流をする。
- ・アニー・サリバンの思いや生き方からどんなことを学び、困難を乗り越えやり抜くために、どんな心を大切にしたいかを、道徳ノートに書く。

## 3. 家庭でも考えよう

子どもたちが強い意志をもち、目標に向かって努力するためには、「しようとする事」に価値を見出すことが前提となります。さらに何のためにしようとするのか目的意識を明確にする必要があります。

今回の教材を通して、子どもたちがアニー・サリバンの生き方に自分を重ね、自己を見つめ直し、何か多き壁にぶつかったときに、希望と勇気をもち、くじけずに努力していけるようになるとよいと思っています。ご家庭でも、子どもたちの頑張っている姿が見られましたら、賞賛していただき、さらに何ができるのかをお子様と話し、取り組ませていただきたいと思います。